

[要点]

- (1) 1929年、アメリカにおける株価の大暴落に始まった世界恐慌は、世界の多くの国々におよんだ。
- (2) アメリカでは、フランクリン・ルーズベルト大統領が、TVAなどのニューディール政策を実施した。
- (3) イギリスやフランスは本国と自治領・植民地との結びつきを強めて恐慌を乗り切ろうとするブロック経済を行った。
- (4) 世界恐慌は、賠償金の支払いに苦しむドイツに追い打ちをかけ、失業者の増大と激しい物価高をもたらした。
- (5) これを背景に、1933年、ヒトラーのナチス党が政権をにぎり、ベルサイユ条約を破棄して再軍備をはかり、国際連盟を脱退した。また、ユダヤ人の迫害を行った。
- (6) イタリアでは、1922年にムッソリーニがファシスト党を率いて独裁政治を行い、1935年にエチオピアを侵略した。
- (7) 民主主義を否定し、軍国主義による独裁政治をうちたてようとするファシズムに対抗して、フランスやスペインでは、人民戦線政府が成立した。
- (8) ソ連では、レーニンの死後、指導者となったスターリンが、1928年から5か年計画を行って重工業の建設と農業の集団化を進めていた。計画経済を進めていたため世界恐慌のとき、その影響を受けなかった。

[A問題：要点確認]

- (1) 1929年、アメリカにおける株価の大暴落に始まった()は、世界の多くの国々におよんだ。
- (2) ()年、()における株価の大暴落に始まった世界恐慌は、世界の多くの国々におよんだ。
- (3) アメリカでは、フランクリン・ルーズベルト大統領が、TVAなどの()政策を実施した。
- (4) アメリカでは、()大統領が、()などのニューディール政策を実施した。
- (5) イギリスやフランスは本国と自治領・植民地との結びつきを強めて恐慌を乗り切ろうとする()経済を行った。
- (6) ()や()は本国と自治領・植民地との結びつきを強めて恐慌を乗り切ろうとするブロック経済を行った。
- (7) 世界恐慌は、賠償金の支払いに苦しむ()に追い打ちをかけ、失業者の増大と激しい物価高をもたらした。

- (8)これを背景に、1933年、ヒトラーの()党が政権をにぎり、ベルサイユ条約を破棄して再軍備をはかり、国際連盟を脱退した。また、()人の迫害を行った。
- (9)これを背景に、1933年、()のナチス党が政権をにぎり、()条約を破棄して再軍備をはかり、国際連盟を脱退した。また、ユダヤ人の迫害を行った。
- (10)()では、1922年に()がファシスト党を率いて独裁政治を行い、1935年にエチオピアを侵略した。
- (11)イタリアでは、1922年にムッソリーニが()党を率いて独裁政治を行い、1935年に()を侵略した。
- (12)民主主義を否定し、軍国主義による独裁政治をうちたてようとするファシズムに対抗して、フランスやスペインでは、()政府が成立した。
- (13)民主主義を否定し、軍国主義による独裁政治をうちたてようとする()に対抗して、()や()では、人民戦線政府が成立した。
- (14)ソ連では、レーニンの死後、指導者となった()が、1928年から5か年計画を行って重工業の建設と農業の集団化を進めていた。()経済を進めていたため世界恐慌のとき、その影響を受けなかった。
- (15)ソ連では、()の死後、指導者となったスターリンが、1928年から()計画を行って重工業の建設と農業の集団化を進めていた。計画経済を進めていたため世界恐慌のとき、その影響を()。

[B問題]

- (1)1929年から世界の景気が急激に悪くなるが、これは何という出来事によるか。
- (2)世界恐慌は何年に始まったか。
- (3)世界恐慌はどこの国から始まったか。
- (4)世界恐慌のとき、公共事業をおこし、農産物を政府が買い上げ、労働者の権利を強めて国民の購買力を高めようとしたアメリカの政策を何というか。
- (5)ニューディールを実施した大統領は誰か。
- (6)ニューディールの一環として、アメリカ政府がテネシー川流域開発のためにつくった会社は何というか。
- (7)世界恐慌のとき、本国と自治領・植民地との結びつきを強めて恐慌を乗り切ろうとした政策を何というか。
- (8)ブロック経済を実施した国を2つあげよ。
- (9)民主主義を否定し、軍国主義による独裁政治をうちたて、外国を侵略しようとする考え方を何というか。またそのようになった国を2つあげよ。

- (10) イタリアで1922年にムッソリーニに率いられて政権を握った政党の名前は何か。
- (11) ファシスト党内閣はどこでできたか。また、その指導者は誰か。
- (12) ヒトラー政権が破棄した条約は何か。
- (13) ヒトラー政権が迫害したのは何人か。
- (14) ファシズムに対抗して、フランスやスペインで成立した政府を何というか。
- (15) 世界恐慌のとき、計画経済を進めていたためその影響を受けなかった国はどこか。
- (16) ソ連において、重工業の建設のために、1928年から始められた計画は何か。
- (17) この当時のソ連の指導者は誰か。

[解答] (1) 世界恐慌 (2) 1929年 (3) アメリカ (4) ニューディール政策 (5) フランクリン・ルーズベルト (6) TVA(テネシー川総合開発) (7) ブロック経済 (8) イギリス フランス (9) ファシズム ドイツとイタリア (10) ファシスト党 (11) イタリア ムッソリーニ (12) ベルサイユ条約 (13) ユダヤ人 (14) 人民戦線 (15) ソ連 (16) 5か年計画 (17) スターリン

[C問題]

- (1) ニューディール政策の1つにTVAがあるが、これは何という川の総合開発か。
- (2) イギリスがブロック経済政策をすすめることを決定した、本国・自治領・植民地の代表者による会議を何というか。
- (3) ドイツ・イタリア・日本は、資源や市場に恵まれていないことから、自国を称して何と呼んだか。
- (4) イタリアは、1933年、アフリカのある国を侵略した。何という国か。
- (5) ドイツ空軍の爆撃によって破壊されたスペインの町で、ピカソが民衆の悲しみを描いたのは何という町か。
- (6) 世界恐慌が深刻になった30年代、ソ連は逆に飛躍的に工業が発展しているが、それはなぜか。
- (7) レーニンの死後、反対派をおさえてソ連の指導者になったのは誰か。
- (8) 「第1次5か年計画」とはどこ国のことか。

[解答] (1) テネシー川 (2) オタワ会議 (3) もたざる国 (4) エチオピア (5) ゲルニカ (6) 社会主義経済で資本主義経済の影響を受けなかったから。 (7) スターリン (8) ソ連

